



TITLE:

教室通信・編集後記ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

教室通信・編集後記ほか. Cue 1999, 3: 54-54

ISSUE DATE:

1999-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57782>

RIGHT:

# cue

京都大学電気関係教室技術情報誌

NO.3

JUNE 1999

---

[第3号]

..... 卷頭言 .....

中国電力 井上幸夫

大学の研究・動向

電力発生伝送工学分野・イオン工学実験施設

産業界の技術動向

シリーズ：研究内容紹介

平成10年度修士論文テーマ紹介

学生の声

教室通信

**cue**：きっかけ、合図、手掛かり、という意味  
の他、研究の「究」（きわめる）を意味す  
る。さらに KUEE (Kyoto University  
Electrical Engineering) に通じる。

## 教室通信

1. 平成10年度の電気電子工学科の学生と大学院修士学生の就職状況は、不況にも関わらず例年どおり好調でした。

学部卒業生の総数は128名、そのうち106名が大学院修士課程へ進学し、20名が企業に就職しました。また、修士課程修了し就職した人は電気工学専攻24名、電子物性工学専攻21名、電子通信工学専攻34名、博士後期課程進学者は11名でした。就職先はユーザ、製造メーカーなど多岐にわたり今年度特に従来と変わった傾向はありません。

2. 大学院重点化により大学院を充実させるため、各専攻の分野数を増加させた結果、従来一研究室当り約300平米であった面積が約250平米に減りました。研究環境の息苦しさを感ずる結果となっています。

今後、当局の抜本的な対策が期待されるところです。

## 編集後記

日増しに暑くなり、今年もまた夏が始まりつつあります。さてcueも、はや第3号となり徐々に軌道にのりつつあります。また今年から、奥村先生を委員長とする新しい編集体勢となりました。今後ともどうかcueをよろしく願い申し上げます。(S. N.)

発 行 日：平成11年6月

編 集：電気電子広報委員会

田丸 啓吉、奥村 浩士、佐藤 亨、  
小野寺 秀俊、萩原 朋道、野田 進

発 行：電気電子広報委員会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学工学部電気系教室内

E-mail: [cue@kuee.kyoto-u.ac.jp](mailto:cue@kuee.kyoto-u.ac.jp)

印刷・製本：株式会社 田中プリント